

学校法人神奈川大学「みなとみらいキャンパス」(仮称) 事業計画概要

本学園は創立者米田吉盛が1928(昭和3)年、横浜市中区桜木町に開設した横浜学院に始まり、1930(昭和5)年に前身の横浜専門学校を横浜市神奈川区六角橋に移転、2018年には創立90周年を迎えます。

この度、横浜市が所有する「みなとみらい21中央地区 43街区」の事業予定者として決定されたことを受け、横浜を発祥とする本学園は、横浜市が目指す未来の姿「OPEN YOKOHAMA」への寄与とともに、本学の知的、人的及び物的な資源を横浜の地に結集し、未来社会を担う人材の養成はもとより、日本、世界中から集まる学生・人々とのコラボレーションの場・機会の提供を目的として「みなとみらいキャンパス」を開設することを決定いたしました。

「みなとみらいキャンパス」の開設により、本学は高等教育機関の使命・役割である公共性を重視し、「地域・社会との連携」、「大学資源の社会への還元」、「災害時の拠点機能」などを一層強化して参ります。

事業計画概要は以下の通りです。

1.敷地概要

所 在	みなとみらい21中央地区43街区 (西区みなとみらい四丁目5番1、同番2、同番5)
敷地面積	7,848.31㎡
用途地域	商業地域
建ぺい率	80%
容積率	800%
高さ制限	最低高さ60m、最高高さ180m

2.建築概要(予定)

構造種別	鉄骨造(一部RC造)
階 数	地上21階、地下1階
延べ床面積	約46,600㎡
高 さ	98.85m
最高高さ	105.35m

3.事業計画

2017年5月	基本計画・基本設計
2018年9月	着工
2020年11月	竣工
2021年4月	みなとみらいキャンパス開設

4. みなとみらいキャンパスのコンセプト

みなとみらいキャンパスのコンセプトは「国際・日本」の融合した未来「創造・交流」キャンパスの展開とし、あらゆる「人」が集い「知」が交流する拠点・ソーシャルコモンズを、新しい学び、賑わいの場として提供する。

5. みなとみらいキャンパスにおける教育の取り組み

- (1) 国際港都・横浜に世界諸地域ならびに日本の文化と歴史を理解したグローバルな人材を育成する 21 世紀型新教育組織の設置を計画
- (2) 新教育組織の基本概念は、「横浜（日本）・文化・歴史・民俗・世界（国際）」を概念構成として多様な交流を通じた異文化理解に基づくグローバル教育を推進
- (3) 既設学部の改組をも視野に入れたグローバル系学部の集約を構想

6. みなとみらいキャンパスの事業概要

みなとみらいキャンパスでは教育事業をはじめとする様々な事業を展開します。

- (1) 賑わいの交流ゾーン<主に 1 階～3 階>

ワールド・ビュッフェ、体験展示エリア、グローバルラウンジ、産官学連携・地域交流ラウンジ、多目的ホール、神奈川大学エクステンションセンター、託児施設、図書館、ラーニングコモンズ、ブックカフェ、レセプションルーム等

- (2) 管理施設ゾーン<主に 4・5 階>

- (3) 教育ゾーン・研究ゾーン<6 階～20 階>

教育ゾーン 講義室・演習室等

研究ゾーン 研究所・研究センター、共同研究室、研究室等

【完成イメージ図】



【参考】

1. 組織・学生・生徒数

- (1) 学 部：7 学部 20 学科 2 プログラム

学生数（2017.4.1 現在）18,032 名

（2015 年度学生数は全国第 18 位「2017 大学ランキング」調べ）

- (2) 大学院：9 研究科 14 専攻

大学院生数（2017.4.1 現在）444 名

- (3) 附属中・高校生徒数 1,292 名

- (4) 学生・生徒合計（2017.4.1 現在）：19,768 名

2. 卒業者数 約 22 万人

※ 本件に対するお問い合わせ： 神奈川大学広報部 電話 045-481-5661(代)

2017年4月12日
(記者発表資料)

みなとみらい 21 中央地区 43 街区の事業予定者決定へのコメント

学校法人神奈川大学理事長 正野幸延

桜木町を発祥の地とする本学が、みなとみらい地区に新たなキャンパスを設置できることは大変光栄なことです。本学のキャンパスを開設することにより、新たな交流と賑わいの創出、都市ブランドの向上に寄与するとともに、みなとみらい地区に集う人々や企業と未来のヨコハマを繋ぐ、高等教育機関としての使命を果たします。

神奈川大学学長 兼子良夫

開港の地横浜から日本を世界に発信する、新たな時代にふさわしい「知の拠点」として、グローバル化に対応した本学ならではの教育組織と魅力あふれるキャンパスを実現します。地域に根ざし、新しい知見を創造する有為な人材を育成するとともに、産官学のネットワークづくりの担い手としての役割を果たし、未来社会への貢献を一層推進してまいります。

報道関係各位

本日の記者発表資料のイメージパース画像をご用意しております。
ご入用の場合は神奈川大学関係者にお申し出願います。

学校法人神奈川大学